

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査における

北九州市立 広徳 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能	・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

※全ての実施教科で、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問うようにしています。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

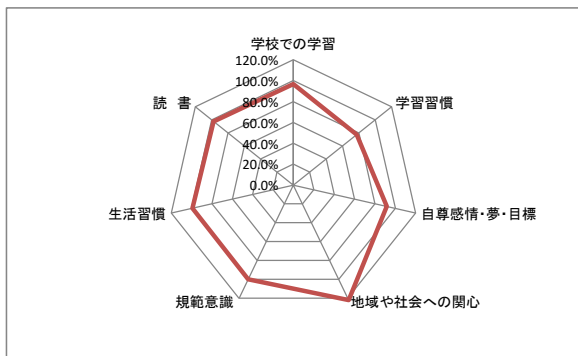
本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.1	65	9.0	64
全国	8.9	64	9.3	67

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	書く能力、読む能力、言語についての知識・理解・技能については、いずれも全国平均を下回っているが、これまでよりも上昇傾向にある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	図表やグラフなどを文中に用いた目的を捉えることができた。漢字を正しく書く問題の正答率が全国平均を大きく上回った。	
	努力が必要な問題	情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉えることや目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしなが読むことに課題がある。	

算数	全体的な傾向や特徴など	各領域全国平均を下回っているが、「数と計算」領域については、これまでよりも上昇傾向にある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	棒グラフの問題から、資料の特徴や傾向を読み取ることがよくてきていた。また、加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることがよくてきていた。	
	努力が必要な問題	図形についての観察や構成などの活動を行い、構成要素や平面図形について理解を深めることが課題である。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
地域の行事に参加している児童が多い。市民センターや児童館など様々なところで祭りやイベントを開催していることで、児童が地域の方々と触れ合う機会に恵まれている。また、地域が一体となり子どもたちを育てる意識が高いことが分かる。
学習習慣については、家庭での学習時間が短い。自分で計画を立てて勉強をする力が必要である。学校で「広徳漢字検定」という取組を行っているので、自主学習と合わせて家庭学習でも取り組めるようにする。読書に関しては好きな児童が多い。本を読む習慣を身に付け、さらに読書好きな児童を育てたい。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

「広徳漢字検定」実施や朝自習「学年で漢字」の時間を中心に、当該学年や上の学年の漢字の定着を目指して全校で取り組む。授業の中で話し合い活動を取り入れ、友達の考えを聞き思考の広がりや深まりを味わわせたり、課題意識を生み、興味・関心をもたることができるような学習指導の工夫を行う。

② 家庭生活習慣等に関する取組

地域とともに児童を見守りながら育てていく。そのために開かれた学校づくりを進め、連携を深める。また、各学年において生活科や総合的な学習の時間で地域の方や近隣の学校との積極的な交流を行い、シビックプライドの心情を育て、自分自身や地域を大切にできる児童を育てていく。